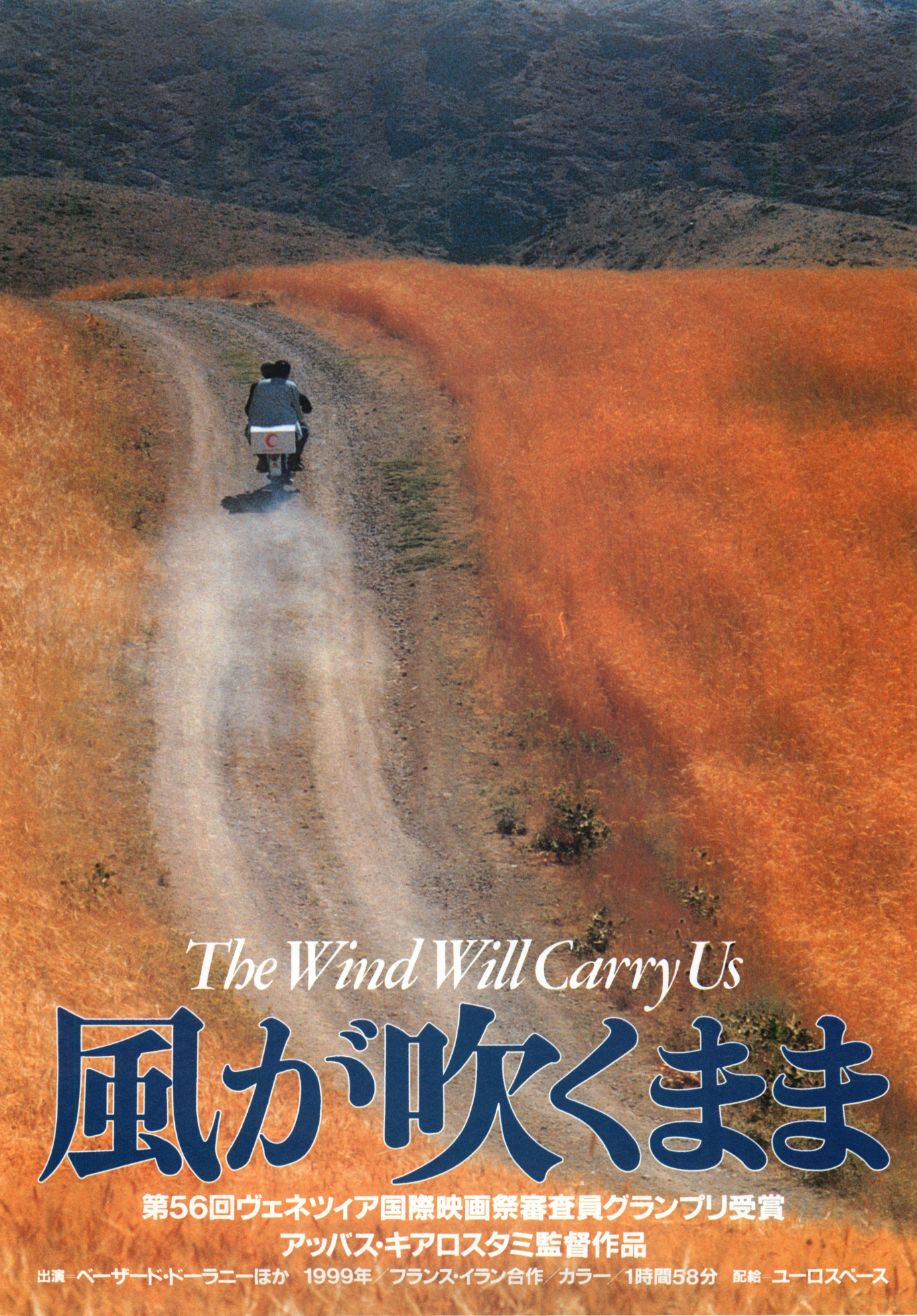




The Wind Will Carry Us

風が吹くまま

第56回ヴェネツィア国際映画祭審査員グランプリ受賞

アッバス・キアロスタミ監督作品

出演=ベーザード・ドーラニーほか 1999年/フランス・イラン合作/カラー/1時間58分 配給=ユーロスペース

The Wind Will Carry Us

風が吹くまま

第56回ヴェネツィア国際映画祭審査員グランプリ受賞

監督＝アッバス・キアロスタミ

出演＝ペーザード・ドーラニー

1999年／フランス・イラン合作／カラー／ヴィスタサイズ(1:1.85)／1時間58分

配給＝ユーロスペース

ヴェネツィアを沸かせた 奇跡の演出

◆世界の巨匠、アッバス・キアロスタミ監督の新作『風が吹くまま』がついに届けられた。今回もまた、キアロスタミらしい題材を、他の人にはけっして真似の出来ない奇跡的な演出で、珠玉の作品に作り上げている。

◆首都テヘランから700キロも離れた、クルド系の村を訪れた都会からの男たち。どうやら、あと数日で天に召されようとしている老婆の死を待っているようだ。この地方では葬儀に変わった風習が残っていて、男たちはその様子取材に来たテレビのクルーらしい。ところが老婆はなかなか亡くなりそうもない。

◆『そして人生はつづく』(92)では地震で崩壊した村を訪ね、そこに生活する人々のたくましさ、人生を感じさせたキアロスタミ監督。また、カンヌ国際映画祭パルムドールに輝いた前作『桜桃の味』(97)では自殺を決意し、その介添え人をさがす男の一日を描き、「死」を通して生きるこの意味を我々に問いかけた。

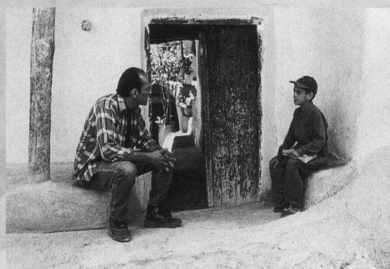
◆『風が吹くまま』は、そんなキアロスタミ監督の人間・人生への視点の延長線上にある作品といえるだろう。老婆の死をひたすら待ち続けるディレクターに起きる、皮肉な「神のいたずら」を思わせる展開。これがキアロスタミ作品の醍醐味である。

見えない登場人物たち

◆音と言葉の情報量に比べると、『風が吹くまま』が映し出すものはストイックだ。主人公の仲

間である、TVクルーは後ろ姿が一瞬写るだけだし、彼らの運命をにぎる老婆の様子もすべて伝聞で伝えられる。主人公が携帯電話で連絡をとりあう、家族やプロデューサーも、その姿は想像するしかない。丘の上で電話線を埋めるためひとり穴を掘る青年も、その恋人らしき乳搾りの娘もほとんど顔は見せない。

◆人一倍「音」を重要視するキアロスタミ監督の、映像と音のバランスについての新しい試みを、監督自身は「おそらくこれは何でも見せる現在の映画への自分なりのリアクション」だと語っている。



スクリーンに息づく 「シアダレ村」

◆主人公のペーザード・ドーラニーはイランを代表するカメラマンの一人、マハムード・カラリの長年の撮影助手。カラリがダリウシュ・メールジュイ監督の新作で撮影を担当したとき、その作品に『桜桃の味』の主役、ホマユン・エルシャディが出ていたのでキアロスタミ監督も現場を見に行くことに。そこで見つけたのがペーザードだった、というから因果は巡る。

◆撮影は、実在するクルド系の美しい村、シアダレと、その近くの村で行われた。基準となった、白い壁と青い窓の町並みに合わせて、他の場所では壁や窓を塗り、映画の中だけのもうひとつの「シアダレ村」が出来上がった。主人公以外はすべて土地の人。ここでも、人々はキアロスタミの魔法にかかり、堂々とスクリーンの中で息づいている。

◆劇中に語られ、読まれる詩の世界は、この映画を豊かにふくらましているもののひとつ。天逝し

た有名な女性詩人フルーク・ファルロークザードの作品や『桜桃の味』の発想の元となったオマル・ハイヤームの作品などが映画を彩っている。

映画が 映画であるということ

◆常にキアロスタミ監督が気にかけてきた「映画が映画であるということ」というテーマはより内省化してこの物語を支えている。『クローズアップ』(90)では実際におこった事件を、再現ドラマとドキュメンタリーを組み合わせるような手法で描き上げ、『そして人生はつづく』では意識的にスタッフの存在を示してみせた。『オリーブの林をぬけて』(94)では監督役の俳優が自己紹介し、それを撮影しているキアロスタミ監督自身も一瞬写りこむ、といった入れ子構造になっていた。さらに『桜桃の味』ではラストシーンに映画のメイキングともいえるヴィデオ映像を使い、我々を驚嘆させた。



◆『風が吹くまま』ではドキュメンタリー番組のTVディレクターを主役にすることで、映像の仕事が潜在的にもっている、ある種の冷酷さを前面に出し、違う角度から「映画とは？ 映像とは？」と語りかけてくる。

◆星座のようにも見える、山腹の家々のあかりが消えて、新しい朝がやってきた時、村を去ろうとする主人公が目にした、ある光景。彼の心に去来するものはなにか、観る人にさまざまなイマジネーションをかきたてるラストシーンである。

2000年2月 感動のロードショー!!

●特別前売鑑賞券1500円 絶賛発売中!
劇場窓口、阪急、阪神、東映、エスト1PG、チケットぴあにてお求めください。

キアロスタミとの一週間

A WEEK with Kiarostami
同時期レイトショー決定!

「風が吹くまま」の撮影現場に密着した奇跡のドキュメント! キアロスタミマジックの秘密がついに明かされる!!

梅田ロフトB1 06(6359)1080

テアトル梅田

<http://www.cinemabox.com/>

※上映日程等については劇場まで
お問い合わせください